

平成 26 年度第 5 回 横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録 【前半】	
日時	平成 26 年 9 月 10 日（水）午前 10 時から午前 10 時 30 分まで
開催場所	横浜市中心図書館 5 階 第一会議室
出席者	延命委員長、荻原委員、藤崎委員、渡辺委員
欠席者	前田委員
開催形態	非公開
議題	1 各応募団体の得点の確定 2 指定候補者及び時点候補者の確定 3 審査講評
決定事項	<p>1 各委員の合計点を得点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有隣堂グループ 875点 ・YOKOHAMA SMILE TRC GROUP 777点 <p>2 上記結果から、</p> <p style="padding-left: 40px;">指定候補者：有隣堂グループ（株式会社有隣堂、三洋装備株式会社）</p> <p style="padding-left: 40px;">次点候補者：YOKOHAMA SMILE TRC GROUP （株式会社図書館流通センター、株式会社明日香）</p> <p>とする。</p> <p>3 審査講評</p> <p>（1）有隣堂グループ</p> <p>第 1 期指定管理業務の実績及び評価の過程で指摘された課題等をよく踏まえ、新たな提案をしている点が評価された。</p> <p>青葉区の地域性と独自性に根差した具体的な提案がされており、優れていた。また、横浜市の施策をよく理解し、管理業務・運営業務のバランスが取れた積極的な事業展開が考えられていた。</p> <p>さらに、快適な読書空間の提供についての具体的な提案は、高く評価できる。実際の取組を期待したい。</p> <p>（2）YOKOHAMA SMILE TRC GROUP</p> <p>指定管理業務等を全国的に展開している実績を踏まえた図書館サービスという点では優れており、業務実績及び職員育成について評価された。しかし、青葉区 の地域性を踏まえた具体的な提案がみられなかった。また、施設の維持管理についても具体性が薄かった。</p> <p>（3）総評</p> <p>横浜市では、平成 26 年 4 月から「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行され、条例に基づき「横浜市民読書活動推進計画」が策定された。横浜市山内図書館の第 2 期の指定管理者の選定は、これらの新たな課題に対し、民間ノウハ</p>

	<p>ウ・民間能力の発揮により、地域の情報拠点機能の強化及び地域の読書活動の推進を実現していくという視点から審査を行った。</p> <p>2団体からの応募があり、厳正なる審査の結果、指定候補者として有隣堂グループを選定した。有隣堂グループの提案は、本市の施策を踏まえ、また、青葉区の地域性・独自性に根差した具体性のあるものであり、地域の読書活動推進に向けて有効性の高いものであると考えられる。</p>
<p>資料・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 審査報告書(案)</p> <p>(2) 平成26年度第3回横浜委山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録(案)</p> <p>(3) 平成26年度第4回横浜委山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録(案)</p> <p>2 特記事項</p> <p>(1) 平成26年度第3回・第4回会議の議事録は承認</p>

平成 26 年度第 5 回 横浜市山内図書館指定管理者選定評価委員会会議録 【後半】	
日時	平成 26 年 9 月 10 日（水）午前 10 時 30 分から正午まで
開催場所	横浜市中心図書館 5 階 第一会議室
出席者	延命委員長、荻原委員、藤崎委員、渡辺委員
欠席者	前田委員
開催形態	公開（傍聴者 0 人）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 25 年度山内図書館事業報告について 2 平成 25 年度山内図書館指定管理者セルフモニタリング評価報告について 3 平成 25 年度山内図書館指定管理者による管理業務に係る評価項目について 4 平成 25 年度山内図書館指定管理者管理業務の評価にかかる事業者ヒアリングについて
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 評価項目については決定とする。 2 ヒアリング項目については、追加・修正の項目を加え、次回ヒアリングに備える
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業報告について （事務局）事業報告について説明。 （荻原委員）青葉区の学校図書館に学校司書の配置は何校くらいあるのか。 （事務局）小学校が 30 校、中学校が 12 校あるうちの 10 校程度。 （渡辺委員）事業回数は増加しているが、参加者数が減っているのは展示が多かったという理由があり、また、学校司書の配置によって学校訪問の回数が減少しているようにも見える。数の上では減少してマイナス要因であるように見えるが、実はプラスであるような説明を明記しておいてほしい。 （事務局）事業実績の特記事項に追加する。 2 セルフモニタリング評価報告について 事業者からセルフモニタリング評価報告書について報告。 ・セルフモニタリング評価報告書は「図書館運営に関する全般的な事項」、「基幹的なサービス」、「充実・推進を図るサービス」の 3 部構成になっている。 ・平成 24 年度の個人情報漏えいの事故を深く受け止め、平成 25 年度は特に個人情報保護に力を注いだ。有隣堂の全社的なバックアップを受けて研修や内部監査を実施した上で、ヒヤリハット事例を職員会議などで情報共有し、改善策を話し合い実行に移すなど、個人情報保護の徹底をした。 ・利用者満足度調査は約 90% の方に満足していただいているという結果だった。また、アンケートや利用者フォーラムでのご意見をもとに、平成 25 年度は託児サービスの立ち上げや館内サインの見直しを行った。 ・書店ノウハウを活かして、人気作家の講演会や絵本のブックカバーを用いたバッグを作る工作会を開催し、好評を博した。 （荻原委員）新コンセプトの衣食住読について具体的な説明を聞きたい。また、具体的にどのように事業に展開しているかを聞きたい。 （事業者）利用者満足度調査を見ると、山内図書館の来館者は子育て中の方や定年退職後の方が多かった。その人たちが本当に必要な情報を提供したいと考え、生活密着型図書館をめざして設定したコンセプトである。 （荻原委員）たとえば、衣服について、具体的にどのような事業を展開しているのか。 （事業者）衣食住は生活全般というイメージのコンセプトである。 （延命委員長）「衣食住」というと同等に「読」をあげていこうという趣旨か。

	<p>(事業者) その通りである。</p> <p>(渡辺委員) 非来館者へのPRはどう考えているか。</p> <p>(事業者) 非来館者向けのPRは課題と考えている。読書条例の動きに合わせて、非来館者向けにPRを強化していきたいと考えている。</p> <p>3 評価項目について</p> <p>(事務局) 評価項目について説明。</p> <p>(延命委員長) 評価シートについて、年度を越えて評価する視点を持つためにも、25年度評価の項目や目安を使うこととする。</p> <p>(藤崎委員) 中間期評価についての視点をもって、25年度の評価をするということだったが、包括的に考えて良いのか。</p> <p>(事務局) これまでの評価で、評価が上下している項目や、条件付きで高い評価をいただいている項目もある。その点を考慮しながら、中間期評価の結果を参考に今年度の評価について考えていただきたい。</p> <p>(荻原委員) 新しく始めたサービスについてのデータはあるのか。</p> <p>(事務局) 託児サービスの実績は事業実績の資料に追加する。</p> <p>4 ヒアリング項目について</p> <p>(事務局) ヒアリング項目シートについて説明。</p> <p>(延命委員長) これも中間期評価と連携させてということで良いか。</p> <p>(事務局) 資料8の中間期評価の概要を確認していただき、達成度を見ていただければと考えている。</p> <p>(延命委員長) 事務局とのやりとりを経て、次回ヒアリングまでに確定させることとする。</p>
資料・ 特記事項	<p>1 資料</p> <p>(1) 横浜市山内図書館平成 25 年度事業報告書</p> <p>(2-1) 平成 25 年度横浜市山内図書館活動実績</p> <p>(2-2) 平成 25 年度横浜市地域図書館活動実績</p> <p>(3) 平成 25 年度山内図書館指定管理者セルフモニタリング評価書</p> <p>(4-1) 平成 25 年度山内図書館の目標と振り返り</p> <p>(4-2) 【参考】横浜市立図書館 中央図書館と各地域図書館の目標と振り返り</p> <p>(5) 横浜市山内図書館 図書館利用者満足度調査報告書</p> <p>(6) 横浜市山内図書館指定管理者による管理業務に係る評価 平成 25 年度評価シート (案)</p> <p>(7) 平成 25 年度横浜市山内図書館指定管理者の管理業務の評価にかかる事業者ヒアリング項目 (案)</p> <p>(8) 横浜市山内図書館指定管理者平成 24 年度管理業務評価及び指定管理中間期の総合的評価について (概要)</p>